

2009年度

科目名	看護学				
担当教員	中田 智子				
配当	薬学2			コード	22030
開期	後期	講時	火曜日2限	単位数	2
授業テーマ	チーム医療を進める上で、薬剤師にとって必要な知識として、看護の理念・役割、看護倫理や健康のあらゆるレベルへの対応等看護についての理解を深める				
目的と概要	私たちは誕生から死に至る一生において、さまざまな病気や異常、心身の不調を感じ、医療・看護を必要とする状況になります。疾病時病院において、医師を助ける看護の役割は比較的知られていますが、健康時の看護についてはあまり知られていません。疾病予防・健康増進における看護にも注目し、日常生活に欠かせない行為としての看護の機能と役割、看護の概念・意義と健康レベル別の看護、看護倫理について理解し、医療チームの一員として、連携協同できる基礎的知識を修得することをねらいとします。				
成績評価法	小テストや学期末テストの成績、平常点、レポートを総合的に評価する。				
テキスト	系統看護学講座 専門1 看護学概論/ 藤崎郁他著/ 医学書院				
参考書	①基礎看護学 看護学概論/ 松木光子編集/ HIROKAWA ②明解看護学双書1 基礎看護学/ 野嶋佐由美編著/ 金芳堂 ③総合保健医療論 これからの保健・医療・看護 阿部俊子 山口徹編集 HIROKAWA				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	講義	看護とは	1.看護とは何かについて自己のイメージを表現できる 2.看護の誕生とその変遷について概説できる	独自 独自	知識 知識
2	講義	看護の理念と看護理論	1.看護の理念・定義が認識できる 2.看護理論を概説できる。	A(1) 独自	知識 知識
3	講義	看護職者の倫理	1.看護職者の倫理綱領を認識できる 2.個人情報保護について認識できる 3.看護研究における倫理的配慮について認識できる 4.看護職者のジレンマについて考えられる	A(2) A(2) A(2) 独自	知識 知識 知識
5	講義	患者の権利	1.患者の権利とは何かについて説明できる 2.インフォームドコンセントの定義と必要性を説明できる 3.患者の基本的権利と自己決定権について認識できる	A(2) A(2) A(2)	知識 知識 知識
6 ・ 7	講義	看護の対象理解 個人・家族・地域	1.発達・心身の特性を認識できる 2.コミュニケーションが適切にもてる 3.健康行動特性を認識できる 4.防御規制・コーピングを説明できる	独自 A(3) A(3) A(3)	知識 態度 知識 知識
8 ・ 9	講義	看護と健康	1.看護と健康の関連性について認識できる 2.健康概念とはなにかについて説明できる。 3.健康概念の変遷を概説できる。	A(1) A(1) A(1)	知識 知識 知識
10	講義	保健医療システム	1.保健医療システムがどのように構築されているか認識できる 2.健康づくりの変遷について概説できる 3.チーム医療のありかたについて自己の考えを述べられる	A(2) A(2) A(3)	知識 知識 態度

11	講義	チーム医療論 1	1.チーム医療とは何かについて認識できる	A(3)	知識
			2.チーム医療の必要性について概説できる	A(3)	知識
12	講義	チーム医療論 2	1.チーム医療を阻害する要因について認識できる	A(3)	知識
			2.チーム医療を進めるための方策を考えられる	A(3)	知識
13	講義	看護関連法と関連職種との連携	1.保助看法に規定されている看護職種の業務について認識できる	A(3)	知識
			2.チーム医療に関わる関連職種を説明できる	A(3)	知識
14	講義	看護サービス提供の場と活動	1.施設(病院)、学校、産業等看護サービス提供の場について認識できる	独自	知識
			2.各々の場における活動の実際について概説できる	独自	知識
15	まとめ	総括と試験	1.薬剤師に必要な看護の基礎知識を修得している	独自	知識
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
A(1) A(2) A(3)	講義	講義室	1	パワーポイント、配布資料	90x14